



SOMEDAY ONE DAY

R-18





三十歳も  
近くなれば

忘れられない人の  
一人や二人いる

思い出すだけで  
切なくも  
暖かい気持ちにして  
くれる大切な記憶は

忘れたくないなら  
思いとは裏腹に

日に日に  
確かな輪郭を  
失っていくのだった

SOMEDAY ONE DAY

Supernatural

嫌いな奴の  
記憶から先に

消してくれたら  
良いのに——







はい  
ありがとうございます  
ございました



ばいばい

それじゃあ  
安室さん  
また

カラ  
カラ



沖矢さん

……で  
あなたも  
さっさと出て行って  
くれませんか



私は君の淹れた  
コーヒーを  
もっと  
味わいたいんですが…

おや





公安の立場まで利用して  
ずっと追っていたこの男は

何を思ったか  
突然俺の前に現れた



ふざけたことを  
言うな

赤井秀二



だから  
それは内密にと...

赤井秀二

憎しみの塊

苛立ちの原因



この「」  
出てきたことを  
後悔させてやる...

な...



あ  
コーヒーの  
おかわり  
お願いできますか



君は敵に回したくない  
男の一人なんだね

どんな意図があるかは  
分からないが  
近くで監視出来るなら  
こちのにとっても好都合





コーヒー  
もう一杯  
お願いします

ただいまー

カクッ



一体どれだけの  
綺麗な思い出が

霞んで  
いったのだろう

こいつへの  
嫌悪のせい



留守番ありがとう  
大丈夫でした？

はい  
何も問題  
なかったです

持ちますね

助かります



昨日

ホアロからの  
帰宅途中に  
事件に巻き込まれ

犯人が車で逃走したから  
毛利探偵とコナンくんを  
乗せて後を追う山道へ

山奥での  
決着が着いたかと思えば  
米花でヘルモットに  
呼び出され逆戻り

自宅に帰れないまま  
朝を迎え  
またホアロで  
愛想を振りまいた後

公安での  
仕事の指示をしに  
出向き22時

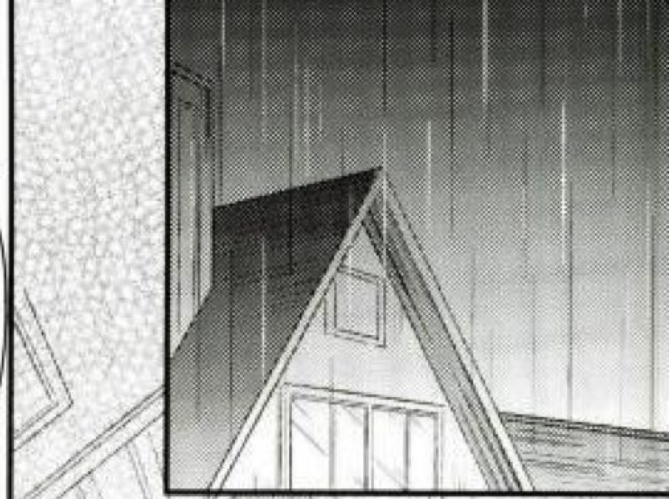
車で来るべき  
だったな...

今日は帰って  
すぐ寝た...  
思ってた以上の雨だ

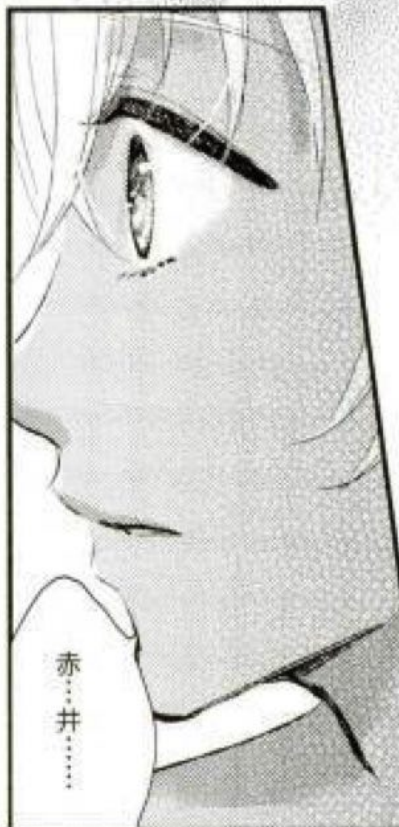
今日は帰って  
すぐ寝た...

赤井...!





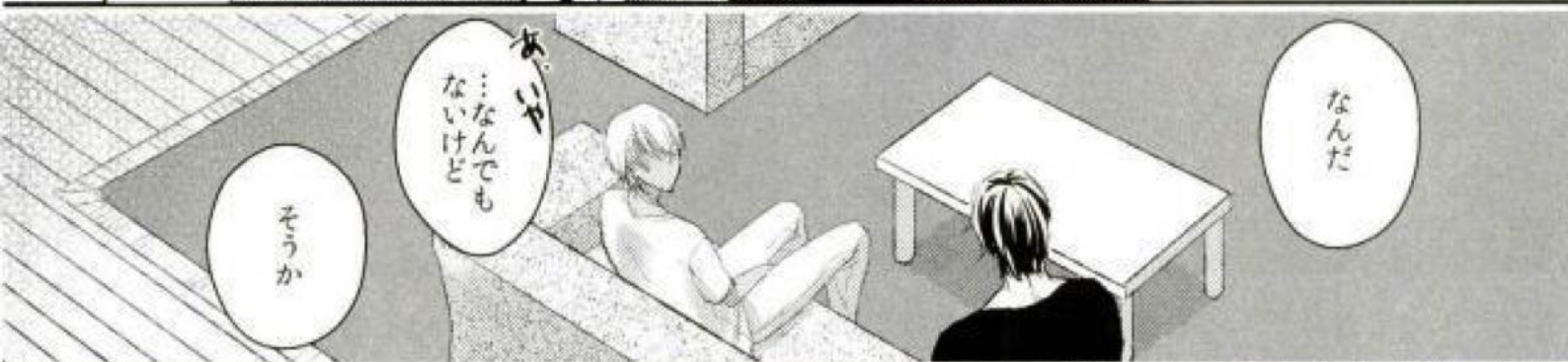




赤...井.....



か  
か



そうか

なにや  
いなんでも  
ないけど

なんだ



本当に  
なかつたんだ

お前  
わざと  
やつてるだろ



飲むか  
え  
ああ...



いなんて俺  
こんなどこで  
風呂借りてるんだ



でも  
君はすぐ  
表に出るから  
気を付けたほうがいい



いいい  
飲みっぷりだ



もう  
首が赤い



触れられると  
思えないのか？



顔も赤いな

ちが...っ



っ!!



組織にいた頃の  
夜を

もっとして

ライ……

色々なものに  
押しつぶされそうに  
なっていたとき

酔った勢いで  
握り付いてしまったのが  
こいつだった



別にこいつに  
言ったわけじゃなくて  
消去法だ

あいつは優しいから……  
俺の事を  
気にかけてしまう



ストレスに  
プレッシャーに  
孤独

あ……

もっと……

何を言っても  
顔色一つ変えないこいつは  
都合が良かった



自分が痛さや  
惨めさを感じることで

世界から許される  
気がしていたんだ

あの頃の君は  
傍目に見ても  
おかしかった

今の君も  
危うくて

放っておけない

もう  
人に甘えてられる  
歳じゃない

一度のミスすら  
命取りになる  
この世界で

たった一人で  
生きていかなきゃ  
いけないんだ

うるさいっ  
昔のことだ

でも

SHUNJI



大切な友人を殺じた  
なにより憎いはすのこの手を

振り払うことが  
出来ないんだろう――



あの頃より  
痩せたんじゃないか

人に  
触られるなんて

久しぶり  
すぎて









君にしてるんだ



俺も  
久しぶりで  
興奮して  
る



三十の男じゃ  
なくて  
しい



三十も近い男に  
興奮なんて  
相当な変態だな



どうした  
こっち向け



その  
言い方じゃ



お返してんだ  
こいつ





随分な顔だな

やめ…っ

あぁ

…そんなことは  
ありえない

もう  
いいから…っ

まだ入らない

もう眠さと快感で  
頭が回ってないんだ



良いぞ

あ…っ

また  
イク…っ

目そんな  
優しくするな





……まどか



もつと  
ひどい方が  
良い  
痛い方が  
安心できる…

こういうのは  
好きな相手に  
しろ…



あ  
そんな  
急に…!



や…  
あ…



こんなことを  
伝わってなかつた  
とはな

何が…  
あ…

待…  
や…

あ…あ…!!







全ての記憶を  
塗り変えてくれ——

帰る



まだ  
朝の8時だぞ

こっちは昨日  
帰る予定  
だったんだよ！



途中から  
酒が回って  
あまり覚えてないけど

薄らとある記憶全部  
夢だと思いたい……



……  
安室くんの  
ときは  
僕になるんだな



本当に  
帰るのか

僕はあなたと  
違って仕事が  
山ほどあるんで  
それじゃ



は？  
ああ……  
何か悪いですか  
すみません

ただ  
顔に合っていて  
可愛いと思っただけだ







恋人ごっこが  
したいなら  
他を当たれ

そうやって  
きやんきやん  
怒っているのも  
かわいいが

はあ!?  
気持ち悪いこと  
言うな!



君がまた  
ここにきてくれるなら  
行かないでおこう

来るな

じゃあまた  
コーヒーを  
飲みに行く

このまま  
直行だよ

喫茶店の  
バイトは  
休みか



死ね!



安心しきって  
よだれ垂らして  
寝た奴が  
何言ってるんだ



そうやって俺から  
睡眠時間を奪って  
殺そうっていう  
算段か?

—長い間

他の何よりも  
胸の中を占領していた  
憎しみの記憶



でも  
もしそれが

上書きしたくない  
大切な想いだっただの  
だとしたら……

バーボン

まだ何か……

俺が  
したいのは

ごっこ遊び  
じゃなくて

本当の……

その答えは  
次の夜に持ち越した



Conan Fanbook #001

Ak x Am

Presented by milonga

